

魔使いの弟子

ディレイニー作 金原瑞人・田中亜希子訳 東京創元社

トムは、七番目の息子である父さんの七番目の息子。特別な能力を備えているらしく、十三歳になる年に、魔使いに弟子入りすることになった。魔使いとは、邪悪なものから村や畑を守り、食屍鬼や精霊などの魔物を扱う恐ろしい仕事だ。師匠はフードつきの黒マントにすっぽり身を包んだ孤独でわけありの男。魔使いに弟子入りするための最初の試験は、さびれた炭鉱町にある幽霊屋敷でひと晩ひとりで過ごすことだった。

トムは、無事に魔使いになることができるのか？

